

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2015-201279(P2015-201279A)
 【公開日】平成27年11月12日(2015.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報2015-070
 【出願番号】特願2014-78252(P2014-78252)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/12 C

H 0 5 B 33/14 B

C 0 9 K 11/06 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月4日(2017.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陰極と、

陽極と、

前記陰極と前記陽極との間に設けられ、駆動電圧が印加されることにより発光する発光部と、

前記陰極と前記発光部との間に設けられ、前記発光部に電子を輸送する電子輸送層とを有し、

前記発光部は、前記陽極側から前記陰極側に積層された、第1の発光層と、第2の発光層とを備え、

前記電子輸送層は、前記第2の発光層に接して設けられており、

前記第1の発光層は、発光材料と、ホスト材料と、アシストドーパント材料とを含んで構成され、

前記ホスト材料および前記アシストドーパント材料の一方は、電子輸送性の高い材料であり、他方は正孔輸送性の高い材料であり、

前記第2の発光層は、前記アシストドーパント材料を含まず、前記発光材料と、前記ホスト材料とを含んで構成されることを特徴とする発光素子。

【請求項2】

前記第1の発光層において、前記アシストドーパント材料は、その含有量が20wt%以上、70wt%以下である請求項1に記載の発光素子。

【請求項3】

前記ホスト材料は、アセン系化合物である請求項1または2に記載の発光素子。

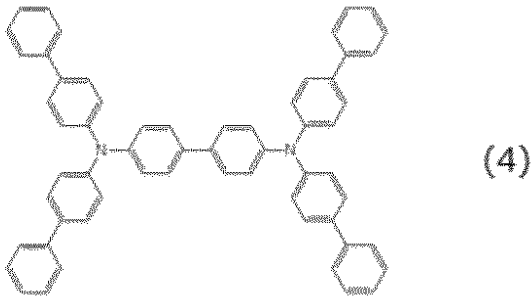
【請求項4】

前記アシストドーパント材料は、アミン系化合物である請求項1ないし3のいずれか1項に記載の発光素子。

【請求項5】

前記アミン系化合物は、下記式(4)で示される化合物である請求項4に記載の発光素子。

【化1】



【請求項6】

前記第1の発光層および前記第2の発光層において、それぞれ、含まれる前記発光材料は、同一のものである請求項1ないし5のいずれか1項に記載の発光素子。

【請求項7】

前記第1の発光層および前記第2の発光層において、それぞれ、含まれる前記発光材料は、異種のものである請求項1ないし5のいずれか1項に記載の発光素子。

【請求項8】

請求項1ないし7のいずれか1項に記載の発光素子を備えることを特徴とする発光装置。

【請求項9】

請求項8に記載の発光装置を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項10】

請求項9に記載の表示装置を備えることを特徴とする電子機器。